

The Honorable Nancy Pelosi
Speaker
United States House of Representatives
235 Cannon House Office Building
Washington, D.C. 20515-0508
USA

Dear Speaker Pelosi,

今月26日、下院外交委員会において、旧日本軍のいわゆる「慰安婦問題」で日本に公式の謝罪を求める決議案の修正案が、賛成39対反対2の多数で採決された。しかしこれは全くの事実誤認に基づく決議である。その内容は、故アイリス・チャン氏の『ザ・レイプ・オブ南京』という記述内容も写真もほとんど虚構でしめられた著書や、日本の吉田清次氏による『私の戦争犯罪—朝鮮人強制連行』といういまでは全くの虚偽であることが実証された作り話によって日本や韓国内で大騒ぎになった事件等によるもので、事実と著しく相違している。

「真実」は、6月14日のワシントン・ポスト紙に掲載された意見広告の通りで、現地の軍が関与したのは主に性病の予防と慰安所の秩序を守ること等であったことを理解していただきたい。このことは米軍の公式記録でも実証されていることは、5月7日付けで貴殿に送付した手紙に記したとおりである。またそれに添付した秦郁彦教授の論文「**No Organized or Forced Recruitment: Misconceptions about Comfort Women and the Japanese Military**」および Newsweek 4月2日号に掲載された加瀬英明論文に客観的且つ具体的な事実が述べられているので、是非ご確認いただきたい。

また、問題の「河野官房長官談話」は、当時の日韓関係をよくしたいというその場逃れの目的のために、事実を目を瞑った内容となってしまっている。河野氏の責任と在郷は極めて重大であるとわれわれは考えている。

このような真相について、来る本会議でこの決議案が審議される前に、是非冷静に客観的且つ具体的に確認されるように、もう一度議員各位の良識に期待している。

*別紙に「慰安婦性奴隷論」の虚構を否定する主な根拠12点を添付。

2007年7月2日

「史実を世界に発信する会」

代表 加瀬 英明